

医療従事者／医師／インストラクター	住所
Administrator	住所: 電話番号／ファックス／Eメール:

## 電子組織スキャン状態報告書

苗字 名前: 2JI11
生年月日: 11-1-1969
性別: 女
検査実施日: 18-1-2023 17:18
登録方法: A1 (61,0,100,100,0) N1 (55,0,100,100,0)

測定は、L.D Technologyにより製造されたEIS感知装置の分析器を使用して行われます。

基準EN 60601-1-1にしたがってタイプBFの電気装置と承認されました。

基準EN 60601-1-2にしたがって電圧:5V DC 電圧:200 mA CEMとされました。

### 補足

これらすべての結果は、特定のより精度の高い補足検査および臨床検査に直結しています。生化学的な値は間質液から測定された推定値です。血液分析は、身体の異なる部分における濃度の差に応じて異なっている必要があります。統計的なリスク分析(主なリスクおよび関連リスク)において、臨床実験からの組織パラメーター、そして微小循環系およびインバースプロブレム解析の結果によって、ソフトウェアは特異性と感受性を備えた疾病あるいは機能障害のいくつかの可能性を提示します。これらの可能性は診断ではなく、より特異的かつ感度の高い補足検査の判断の為に役立ちます。身体組織に関する計算は、生体電気インピーダンス法(BIA)により実施されます。BIAは分類化および細分化した分析によって5 Hz～200 kHzの交流電流を用い測定します。

組織内イオノグラムの推定				組織内ガス評価の推定				組織の酸化ストレス推定			
	値	平均	単位		値	平均	単位		値	平均	スケール
[ナトリウム	135.00	121.6 > N < 129.0	mmol/l	pH	7.43	7.29 > N < 7.37		[ペルオキシ亜硝酸	0	N <= 20	0/50
[カリウム	2.68	3.00 > N < 3.40	mmol/l	[重炭酸イオン	32.70	22 > N < 26	mEq/l	[一酸化窒素	0	N <= 20	0/50
[塩素	101.80	107.5 > N < 115.0	mmol/l	[炭酸ガス分圧	50.14	41 > N < 51	mmHg	[過酸化水素	30	N <= 20	0/50
[マグネシウム	0.53	0.40 > N < 0.56	mmol/l	[水素イオン	36.80	42.6 > N < 51.3	nM/L	[スーパーオキシド	20	N <= 20	0/50
[カルシウム	1.50	1.45 > N < 1.63	mmol/l	[標準塩基過剰	9.00	-2 > N < +2		[水酸化物イオン	0	N <= 20	0/50
[リン酸塩	2.35	1.60 > N < 2.70	mmol/l	代謝障害の部分的代償の典型である、 呼吸性代償を伴わない著しい代謝性アルカローシス。							
[鉄	20.00	10.0 > N < 30.0	mmol/l								
組織内の脳内神経伝達物質に関する評価				組織内のホルモン評価の推定				生化学に関する統計的推定			
	値	平均	スケール		値	平均	スケール		値	平均	Spec/Sens
[脳のセロトニン	-25	-20 > N < +20	-40/+40	[甲状腺刺激ホルモン	0	-20 > N < +20	-40/+40	[トリグリセリド	15.0	-20 > N < +20	81%/79%
[脳のドーパミン	-30	-20 > N < +20	-40/+40	[卵胞刺激ホルモン	20	-20 > N < +20	-40/+40	[尿素	10.0	-20 > N < +20	75%/73%
[カテコールアミン	-25	-20 > N < +20	-40/+40	[DHEA	-25	-20 > N < +20	-40/+40	[クレアチニン	0.0	-20 > N < +20	74%/75%
[アセチルコリン	0	-20 > N < +20	-40/+40	[コルチゾール	25	-20 > N < +20	-40/+40	[グルコース	20.0	-20 > N < +20	82%/80%
				[アルドステロン	0	-20 > N < +20	-40/+40	[動脈硬化指数	20.0	-20 > N < +20	83%/79%
				[アドレナリン	20	-20 > N < +20	-40/+40				
				[エストラジオール	-20	-20 > N < +20	-40/+40				
				[インスリン	30	-20 > N < +20	-40/+40				
				[副甲状腺ホルモン	-5	-20 > N < +20	-40/+40				
				[甲状腺ホルモン	0	-20 > N < +20	-40/+40				
				[抗利尿ホルモン	0	-20 > N < +20	-40/+40				
				[ACTH	-25	-20 > N < +20	-40/+40				

## 主なリスク

### リスク I - 内分泌機能

2型糖尿病の可能性: 特異性 76% 感受性 77%

### リスク I - 神経機能

気分変動または不特定のうつ病の可能性: 特異性 74% 感受性 78%

## 関連リスク

### リスク II - 心血管機能

アンジオテンシンに起因する高血圧症の可能性: 特異性 81% 感受性 83%

### リスク III - 消化機能

膵機能不全【血液の中に数種類のホルモンを分泌し体の代謝をつかさどる機能の低下。インスリン分泌が低下し糖尿病に至る場合も】の可能性: 特異性 82% 感受性 73%

### リスク III - 泌尿生殖器および腎機能

婦人科疾患または尿路の可能性: 特異性 83% 感受性 81%

### リスク III - 呼吸機能

呼吸器疾患または喘息の可能性: 特異性 73% 感受性 67%

### リスク III - 神経筋機能

脊柱変形および

関節障害のリスク: 特異性 76% 感受性 75%

## EIS測定による体の基本情報

微小循環障害の可能性: 特異性 83% 感受性 84%

活力減少の原因となる可能性のある恒常性【体の内部環境が一定した状態】のアンバランス: 特異性 80% 感受性 84%

ストレスに関連する恒常性異常(原因または結果): 特異性 80% 感受性 84%

標準鉄濃度における貧血症の可能性

: 特異性 75% 感受性 78%

基礎代謝の上昇 6.00%

代謝性障害

推奨される検査項目。	さらなる検査項目。
<p><b>通常検査:</b>            下肢のドップラー</p> <p><b>臨床検査:</b>            -空腹時血糖            -食後血糖            -グリコシル化ヘモグロビン</p> <p>糖尿</p> <p>- アルブミン            - FSH【卵胞刺激ホルモン】            - LH【黄体形成ホルモン】            - プロラクチン            - TSH【甲状腺刺激ホルモン】            - PTH【副甲状腺ホルモン】            - GH【成長ホルモン】            - Aldosterolemia            - コレステロール            - トリグリセリド</p>	<p><b>通常検査:</b>            -腎臓の超音波検査            -骨密度測定</p> <p><b>臨床検査:</b>            -膣のスメア検査【卵巣ホルモンの分泌状態や癌細胞などの検査】            -細菌分析およびアンチバイオグラム            -FBC【全血球数測定】            - SS【血清病検査(アレルギー反応検査)】            - CRP            - アミラーゼ            - リパーゼ            -リン酸カルシウムレベル            -トランスアミナーゼ / ガンマGT / ビリルビン</p>

## 身体組織の評価



生活習慣: 座位の  
 身長: 1.61 m  
 最低体重減度 46.66 kg  
 理想体重: 55.73 kg  
 除脂肪量: 45.10 kg  
 総水分量: 33.01 kg  
 細胞外水: 13.21 kg  
 基礎代謝率/24時間: 1355 Kcal

過体重  
 体重: 65.00 kg  
 最高体重限度 64.80 kg  
 BMI-肥満度(普通体重: 18.5以上25未満): 25.08  
 脂肪量: 19.90 kg  
 筋量: 13.77 kg  
 細胞内水: 19.81 kg

一時的に控えたほうがよい食物	望ましい食べ物
<p>補足:これらの控えたほうがよい食物、または望ましくない食物は一時的(4から6週間)なものであり、次の検査によって変更されることがある。</p> <p>これらの食べ物は酸塩基平衡、主な機能的リスク、BMIと身体組成の解析プログラムによって、控えたほうがよい、または望ましくないが判断されています。</p> <p><b>野菜</b>            アスパラガス、アボカド、アーティチョーク、レンズ豆、エンドウ豆、赤インゲン豆、芽キャベツ、乾燥野菜、刻んだサラダ、アボカド、ビート、じゃが芋、栗、フェネル(ウイキョウ)、ホウレン草、セロリ</p> <p><b>動物性タンパク質</b>            卵白、猟鳥獣肉、コールドカット(スライスした冷製の調理済み肉)、肝臓、腎臓、臓物、薫製肉、薫製した魚および薫製家禽肉、生魚、脂肪の多い肉と動物性脂肪、ラード、ソーセージ、ベーコン、雁(ガチョウ)、アンチョビ、ベーコン、キャビア、エビ、ニシン、ハム、伊勢エビ、タラ、パルメザンチーズ、ポツタルガ(マグロやボラの卵を塩漬けにして乾燥させた物)、イワシ、サケ</p> <p>非常に少量肉を食べ(週1度で十分)、代わりに魚(可能なば脂肪分の多い魚)を食べる</p> <p><b>乳製品</b>            においの強い発酵したチーズ、バター、乳製品、モツアレラチーズ、マーガリン、生クリーム、チーズ</p> <p><b>炭水化物</b>            精白小麦粉と小麦粉から作られたもの、精白パン、フレンチトースト、ペストリー、セモリナ(粉)、白砂糖、パスタ、チョコレート、甘い食べ物、アイスクリーム、蜂蜜、ジャム、ココア、ジャムタルト、パン、玄米、ヌガー(やわらかい糖菓)、グルタミン酸ナトリウム(中国料理に多く使われる)</p> <p>カンゾウ(甘草)</p> <p><b>脂肪</b>            ハードファット、精製された油、蓄積脂肪、マーガリン、揚げ物、炒め物、マヨネーズ</p> <p><b>飲み物</b>            (砂糖またはミルクの入っていない)紅茶、強いアルコール、市販の食用酢、アルコール、甘いコーラ類の飲み物、ココア</p> <p><b>脂っこい食べ物</b>            ピーナッツ、カシューナッツ、ピーカンナッツ、クルミ、アーモンド、ピスタチオ、ヘーゼルナッツ、松の実</p> <p><b>果物</b>            生の果物、バナナ、パイナップル、ナツメヤシの実、シロップ漬け果物、砂糖漬け果物、ドライフルーツ、フルーツゼリー、ココナッツ、シロップ漬け、砂糖漬けまたはゼリーに入った果物、イチゴ</p>	<p><b>野菜</b>            カボチャ、ゴマ、ヒマワリの種、発芽した種、サルシファイ(西洋ゴボウ)、ニンジン、キャベツ、ブラック・ラディッシュ(黒ハツカダイコン)、タンポポ、ナス、サヤインゲン、根セロリ、リーキ(西洋ニラネギ)、豆、レタス、カブ、オリーブ</p> <p><b>動物性タンパク質</b>            脂肪分の多い魚</p> <p><b>飲み物</b>            チコリー、緑茶</p> <p><b>脂っこい食べ物</b>            ブラジルナッツ</p> <p><b>果物</b>            メロン、1日に最高で2つの果物まで、リンゴ、ブラックベリー、ブルーベリー、洋ナシ、クロフサスグリ、サクランボ、ラズベリー、オレンジ、ブドウの皮と種子、グレープフルーツ</p> <p><b>ハーブ</b>            パセリ、ニンニク</p> <p><b>芳香性ハーブ</b>            リンゴ酢、シナモン、カレー、ショウガ、レモン</p> <p><b>植物性タンパク質</b>            大豆、藻</p> <p><b>油</b>            マツヨイグサ油、魚油(フィッシュオイル)</p> <p><b>シリアル</b>            野生のチコリー</p>

<p><b>塩</b> 適度の</p> <p><b>芳香性ハーブ</b> カラシ菜, ルバーブ(大黄)</p> <p><b>グルテンを含む食物を減らす(1ヶ月間):</b> 小麦、大麦、ライ麦、オート麦、カムット小麦、原生ウィート麦、ペストリー、菓子パン製品と全てのケーキ、棒状スナック、菓子、朝食用シリアル、ミューズリー、ピザ、クッキー、および…を除く麦芽、モルトデキストリン、デンプンを含む全ての未検査の商品。米に特定した場合</p>	
<p>マイクロ栄養素</p>	<p>調理法</p>
<p>補足:マイクロ栄養素は栄養不良、アルコール依存症、癌患者、妊娠中の女性などのような特に虚弱な人が対象。 このリストは、組織パラメータ、統計的リスク身体組成とBMIの分析に基づいた、いくつかのマイクロ栄養素製品の参考である。医療分野の専門家が臨床状況にあわせて最終的な処方を行うこと。</p> <p><b>ビタミン</b> ビタミンB6, ビタミンC, ビタミンB1, ビタミンA, ビタミンE, ビタミンB9(葉酸)</p> <p><b>微量元素</b> Zinc nickel cobalt</p> <p><b>植物療法</b> ヒバマタの乾燥抽出物, オルトシフォン(ジャワティー)の乾燥抽出物, クイーンアンズレースの乾燥抽出物, ガラナ, イナゴマメガム, セイヨウトネリコの葉, Hawthorn, 緑茶</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸すのは他のどの調理法よりも望ましい。</li> <li>・調理には、煙を立たせないで、オリーブ油、ピーナッツ油およびヤシ油(を使う)。</li> <li>・カロチノイドの消化をより良くするには、ニンジン、トマト、ブロッコリー、ハウレンソウを調理し、その後オリーブ油または菜種油を加える。</li> <li>・魚を調理するには、レモン汁、ワインまたは油に漬けてから、蒸すか茹でるようにする。</li> <li>・肉は焦がしたり炭化させたりせず調理し、グレイビー(肉汁)は捨てる。</li> </ul>

型	食物の関連性
<p>推奨される1日の総カロリー: 2312</p> <p>植物性タンパク質(大豆と大豆製品)、果物(西洋スモモ、アプリコットを除く)、野菜(アスパラガス、アーティチョーク、芽キャベツと玉ネギを除く)とダイエットミルクを基本とした低カロリーの食生活が望ましい。</p>	<p>・多種の果物と野菜(植物の活性相乗効果-微量栄養素)</p>
<p>食生活アドバイス</p>	
<p>塩、アルコール、ファーストシュガーは減らし、パーベキュー、煮過ぎ・焼過ぎおよび焦げた食物、燻製にした動物性タンパク質(肉、魚、家禽肉)は避ける。</p> <p>1日の総カロリーは次の割合が望ましい:</p> <p>10から15%の動物性および植物性タンパク質</p> <p>30%から35%の脂肪</p> <p>50%から55%のブドウ糖、うち10%はファーストシュガー</p> <p>1日に30gから40gの繊維質</p> <p>バランスの取れた食生活は、これら全ての物質を含んでいる。ビタミンや微量元素も加える必要がある。水質もバランスの取れた食生活には絶対不可欠の補完物。アルカリ性pHの水が望ましい場合 朝食は多く、昼食は適度に、夕食は軽くとするようにする。電子レンジの使用は避ける。また、緑茶(1日に1Lまで)や新鮮な果物、野菜(1日に400~600gが望ましい)を飲むことが望ましい。大豆やゴマも望ましい。オメガ3脂肪酸(アルファリノール酸、EPA/DHA)は、菜種、リンシード(亜麻仁)、クルミ、また魚油に含まれている。オメガ3油は一日に700gまでが望ましい。1日に1, 2杯の赤ワイン(フラボノイド)は有益。フィトエストロゲンはエストゲノミメティック特性を持つ、植物性の化合物。その消費は乳癌、前立腺癌などの多くのホルモン療法的疾病を予防する。フィトエストロゲンはコレステロール値を低下させるため、アテローム斑の形成を防ぐ。また、これらは抗酸化酵素活性を高める。1日に70mgの補給が望ましい。ニンニクや玉ネギ、シャロットは胃癌を防ぐため毎日摂取すると良い。ニンニクはクレタ式ダイエット(心臓血管系を守る)とアジア料理の柱となる食物の一つ。最低12の抗酸化物質が含まれている(マンガン、亜鉛、セレン、ゲルマニウム、カルシウム、鉄分、硫黄、ビタミンA、B1、B6 およびC)。可能ならば、ニンニクは生の新鮮な状態で摂取する。</p>	